

桂材とみられ、福泉寺像は、寄木造、彫眼で、素地仕上げとしている。頭体幹部を通して前後に二材を矧ぎ合わせ、両肩先より地付きまで通して竪に各一材を体側に矧ぎ、脚部は横に一材を矧ぐ。鳳来寺像では頭体幹部を一材で彫出しており、基本的な構造が異なるものの、造形的には等しく、ほぼ同じころ、13世紀後半の造立と考えられるのである。在地の優品といえる。

#### ⑥長光寺（館南） 木造阿弥陀如来及び両脇侍立像 町指定

中尊阿弥陀如来の像高が77.9cm、左脇侍の觀音菩薩が53.0cm、右脇侍の勢至菩薩が54.1cmである。阿弥陀如来は左手を垂下し、右手をあげて、それぞれ第一、二指頭を捻じる來迎印を結ぶ。觀音菩薩は両手で蓮台を捧げ、勢至菩薩は合掌する。來迎のすがたをあらわしているが、両脇侍の両手上膊部半ばより先、阿弥陀如来の両手首より先はいずれも後補のものである。両膝を屈し腰を落とした両脇侍の体の動きから、当初も同様の印相であったと考えられる。三尊とも檜材とみられ、寄木造で、両眼には玉眼をはめ込む。福泉寺像などが彫眼をしているのとは、大きく異なるところである。構造もやや複雑になっており、阿弥陀如来では頭体幹部を通して前後に二材を矧ぎ合わせ、内剣のうえ、襟の線で頭部を割り矧いでいる。このような例は、いわき市・恵日寺の木造阿弥陀如来立像にもみられ、像内に納入品を納めるために施されたもので、恵日寺像では印仏が納められていた（現状では失われている）。長光寺像では納入品はみつからなかったが、かつては印仏や經典、願文などが納められていたものであろう。表面は三尊とも現状では、下地の鋸漆地をあらわしている。しかし中尊阿弥陀如来の衲衣の覆われたところなどに、切金の技法によって雷文繋ぎ文が残っている。当初は全体に切金文様が施されていたものと思われ、繊細かつ華麗な仕上げをみせていたものであろう。このような装飾技法は在地の造像ではなく、これらのことからもこの像が京都など中央からもたらされたものであることが了解できるのである。造形も洗練されており、阿弥陀如来では顔貌表現は両頬がしまり、衣の襞の彫出も鋭くすっきりと仕上げられている。両脇侍も腰をかがめた動きのあるすがたを調和よくまとめている。觀音菩薩の像高が勢至菩薩に比べてやや小さいのは、腰の落としがより低いためである。極楽淨土より來迎する阿弥陀三尊の先頭に立つのが觀音菩薩で、往生者の魂は觀音菩薩の捧げる蓮台に乗り極楽淨土に往生する。觀音菩薩のより腰の低い姿勢は、早く往生者のもとに達しようとする意思のあらわれとみなされ、來迎の瞬間的な動きにも細かな配慮がなされていることがわかる。

長光寺の創建については、当寺の過去帳や『会津旧事雜考』などに記されている。それによれば当寺は文安元年（1444）頃に時宗の僧長阿弥が九州より来て称名を勧めていたところ、この地の商人司である義原左京義元が帰依し当寺を建立したという。そして義原家に伝來した阿弥陀如来像を安置した。義原（後に吉原と改める）家は交易売買で財を蓄えたが、延宝年中（1673～81）に会津若松の商人司梁田家とのもめごとにより、以後衰えてしまう。この地の有力商人であり、阿弥陀信仰に篤い義原家があったからこそ、当三尊像を京都などより当地にもたらすことができたものであろう。この像は、この地の中世の歴史をも伝える具体的な遺品でもあるのである。



## ⑦積翠寺（氷玉） 木造毘沙門天立像 町指定

像高が65.4cmで、鎧を着け、左手に宝塔を捧げ、右手に三叉戟をとる。現状の持物、光背や台座は後補であり、本体のみが当初のものである。割矧造で、玉眼をはめ込む。頭体通して一材で彫出し前後に割り矧ぎ、内刳のうえ、頭部を割り矧ぐ。さらに両脚部を割矧ぐ。動きのあるすがたを力強く造形化しており、怒りの表情にも写実性がある。前記長光寺像と同様に、この時代の正統的な技法や造形を継承している。もとは毘沙門堂の本尊であったと考えられるが、詳しい伝来は不明である。四天王のうち北方を守護する多聞天が独立して崇拜される場合、毘沙門天と称される。東北地方の南部に位置する福島県内には、意外と毘沙門天像の遺例が少ない。そのような中で、この像は貴重である。



## ⑧常勝寺（三日町） 木造聖徳太子立像 県重文

現状では、本町の鎌倉時代の木彫像で唯一造像時の銘記がある遺品である。像内に正中3年（1326）の墨書銘が記されており、この年の造立とわかる。造立年代を明確にしており、資料的価値を高めている。聖徳太子像は会津では比較的多く知られているが、鎌倉時代まで遡る作例は少ない。さらに銘記のある像となると、今のところ他にはない。



三日町にある太子堂の本尊で、像高が125.1cm、頭髪は角髪を結い、袍を着け左肩より袈裟を懸ける。現在、左手に経巻、右手に蓮華をとるが、これらは後補のもので、当初よりこのようなすがたであったか疑問である。経巻と蓮華をとる太子像は会津では他に例がなく、もとは左手に柄香炉、右手に笏をとる孝養太子像ではなかろうか。桂材で、寄木造、玉眼をはめ込み、彩色を施す。頭部は一材で彫出し、襟の線で体躯に挿し込む。頭頂より両頬を通る線で面部を矧ぐ。体幹部は、前後に二材を矧ぎ、両体側に各一材を矧ぐ。頭部を襟の線で体躯に挿し込む構造は、この時代の会津の聖徳太子像にしばしばみられるもので、太子像独特の技法といえるものである。

### （3）南北朝・室町時代

#### ①長福寺（旭無量） 木造地蔵菩薩坐像

南北朝時代の遺品は少ない。鎌倉時代までは比較的大きな像が多かったが、この時代以降、後述のような例外はあるものの平均して小型化していく。長福寺像も像高が28.0cmで、大体この程度の大きさが主流となっている。左手に宝珠、右手に錫杖をとる。現状では表面に漆が塗られており、これは最近塗られたものようである。そのため詳しい構造については不明な点もあるが、概略以下のようになるであろう。寄木造で、彫眼である。頭体幹部通して前後に二材を矧ぎ合わせ、内刳のうえ、三道下で頭部を割り矧ぐ。さらに両体側部、脚部をそれぞれ矧ぐ。基本的な構造は、前述の長光寺像に通じる。この時代の正統的な造形で、頭部は長大にあらわされ、体躯も角張って幅広く、衣の襞は太く、深くうねるように彫出される。しかし後補の漆塗のせいもあるが、やや形式的なところもある。細かくみると、衣部には小さな丸鑿の跡が整えられており、神經の行き届いた仕上げをしている。このような例は、西会津町・真福寺の木造地蔵菩薩坐像にもある。この像は像内の墨書銘により康安2年（1362）に仏師乗円によってつくられたことがわかる。乗円は中央仏師で福島の地に下向し、中通り地方から会津にかけて5例の作品を残している。長福寺像も、当地に下向した中央の仏師の作かも

しない。

## ②法用寺（雀林） 木造三十三身像 町指定

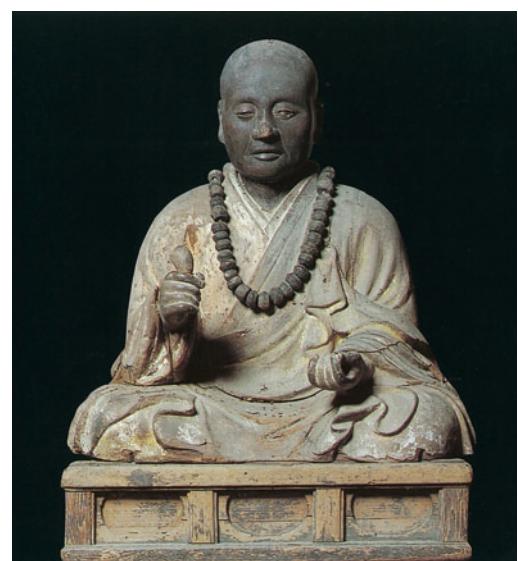
同じく中央仏師の作と考えられる遺品が、法用寺観音堂に伝えられている。三十三身像は、本来33軀あったものであるが、現在20軀が伝存する。觀音菩薩



は教化し救済すべきものの境遇や能力に応じて、それにふさわしい三十三のすがたに身を変えて、一切の生き物を救うという。三十三應現身ともいう。仏身、居士身、童男身、宰官身、比丘身、人身、人非人身などがある。本尊の十一面觀音菩薩立像に付随して造立安置されたものと考えられる。現存20軀のうち人非人像のほり首柄のところに明徳5年（1394）の年号が墨書され、右足柄には仏師の名と思われる「□永」と「一人也」の文字が判読できる。仏師の名と思われる文字が一字読めないが、これから明徳5年に「□永」とみられる一人の仏師によって、三十三身の像がつくられたものと考えられる。なお像内に經典を納入している像もある。像高が68.0～79.0cmで、桂材の寄木造、彫眼で、彩色を施す。割矧造が一例あるが、寄木造の場合は頭部を首柄まで一材で彫出し、首または襟の線で体躯に挿し込む。体躯は大部分を両足柄まで一材で掘出し、ほぼ中心を通る線で左右に割り矧ぎ、内刳を施す。両腕や両手首より先などは別材を矧ぐ。基本的な構造は以上のように、像根幹部を比較的大きな材でつくり、突き出した部分は適宣材を寄せている。銘記にあるように、一人でつくる工夫をしているように思われる。仏師について詳細はわからないが、数多くのさまざますがたの像を写実性を保つつゝ、破綻なくまとめあげている。中央の力量のある仏師を考えられるのである。袖や裳の翻りなどがやや誇張的で、力強さに欠けるところがあるのは、明徳5年というこの像の造立年代を考慮するとやむを得ないところであろう。

## ③法用寺（雀林） 木造得道上人坐像 県重文

法用寺観音堂の須弥壇の前方に安置される。得道（徳道とも書く）上人は奈良・長谷寺の本尊十一面觀音菩薩像を神亀6年（729）に造立し、長谷寺を創建した高僧として著名である。法用寺の縁起も長谷寺の縁起を踏襲しているので、得道上人の草創と伝える。現在、僧形のこの像を得道上人としている。像高が88.3cmで、この時代の仏像では大きい。剃髪し、法衣を着け、左肩より袈裟を懸けている。両手は何かをとっているような形をしているが、現状の右手のものは当初のものではなく、本来何をとっていたかは不明である。桂材とみられ、寄木造、玉眼をはめ込む。頭部は前後に二材を矧ぎ、襟の線で体躯に挿し込む。体幹部



も前後に二材を矧ぎ、両体側部に各一材、脚部に一材をそれぞれ矧ぐ。その他、細部に小材を多用する。顔貌表現には写実性がうかがえるが、体躯の造形には大雑把なところもあり、衣の襞の彫出なども動きに乏しい。しかし全体を調和よくまとめており、細部もしっかりととらえている。三十三身と同様、中央の仏師の作と考えられる。

#### ④福生寺（富岡） 木造十一面觀音菩薩坐像 町指定

得道上人像より、さらに大きいのがこの像である。像高が220.7cmある。会津大仏と称される喜多方市・願成寺の木造阿弥陀如来坐像は鎌倉時代の造立で、像高が235.5cmである。福生寺像は、会津の木造の坐像では願成寺像に次ぐ大きさである。基本的な構造は得道上人坐像とほぼ等しく、頭部を前後二材として三道下で体躯に挿し込み、体幹部も前後に二材を矧ぎ、両体側部に各一材、脚部に一材をそれぞれ矧ぐ。ただしこの像では彫眼とする。撫で肩の体躯は細く、大きさの割には重量感に欠ける。側面からみると量感がうかがえるが、正面観にそれがあらわれていない。衣の襞の彫り出にも伸びやかさがない。『新編会津風土記』に福生寺觀音堂の古い鰐口の銘が記録されており、鰐口が応永33年（1426）に奉納されたことがわかる。この像の造立もこの頃と考えられる。



#### ⑤延命寺（下堀） 木造地蔵菩薩立像

#### ⑥長福寺（旭無量） 木造阿弥陀如来立像

両像とも、この時代のより在地化した造形の遺品である。それは大きさ、構造にも反映されている。延命寺像の像高が36.8cm、長福寺像が39.7cmである。いずれも桂材の一木造で、頭体を通して両体側部をも含んで一材で彫出する。内刳は施さない。一木造の単純な構造である。造形も素朴さをとどめており、顔貌表現などにもよくそれがあらわれている。延命寺像はずんぐりとした体躯に、衣の襞は省略されながら太く、うねるように彫出され、南北朝時代の衣文処理に通じるところがあり、室町時代でも初め頃、15世紀前半の造立と考えられる。長福寺像は延命寺像よりは整った造形で、表情はやさしく、体躯も細い。そこに刻まれる衣の襞も細かく規則的に彫出され、延命寺像のような荒々しさはない。造立は15世紀後半に入るであろう。

#### ⑦長福寺（旭杉原） 木造地蔵菩薩坐像

同様に在地の素朴な造形の遺品である。像高が26.5cmで桂材の一木造であるが、やや複雑な構造を示す。頭体幹部は一材とし、内刳も施していない。そして両体側部や脚部にそれぞれ一材を矧ぐ。木取りをみると両体側部の材が大きく、頭体幹部の材が細い。構造からみても弱々しさがうかがえる。体躯は細くおとなしい造形である。しかしこの像で重要なのは、脚部の裏に墨書銘が記されているところである。これによって天文4年（1535）に造立されたことがわかる。さらに子孫の繁栄や後の世の極楽往生を祈願していることもわかり、造立の意図を明確にしている。大旦那として「大郎 五郎」の名もあり、両名がどのような人物か他に資料もなくはっきりしないが、おそらくこの地に生きた人々であったと思われる。当時の在地の人々の切実な願いがうかがえるのである。また16世紀に入ると、この像のように量感の乏しい、おとなしく形式化した造形が支配的になってくることが理解できる。

（若林繁）

## 7 巨樹・名木

### ■巨樹・名木一覧

番号	樹種	名称	推定樹齢
①	サトザクラ	虎の尾桜	約200年
②	エドヒガン	法用寺のサクラ	約200年
③	アイヅウスズミ	薄墨桜	約80年
④	エドヒガン	神代桜	約400年
⑤	エドヒガン	馬の墓の種蒔桜	約400年
⑥	ソメイヨシノ	宮川千本桜	約90年
⑦	シキザクラ	長福寺の四季桜	約50年
⑧	ウコン	根岸のウコン桜	約40年
⑨	マメザクラ	中田観音堂のサクラ	約40年
⑩	エドヒガン	千歳ザクラ	約600年
⑪	ケヤキ	相田のケヤキ	約800年
⑫	サワラ	伊佐須美神社の南光のヒノキ	約400年
⑬	フジ	伊佐須美神社の紫竜のフジ	約300年
⑭	ナラガシワなど	伊佐須美神社の森	約100～300年
⑮	ヤブツバキ	竹原の大ツバキ	約400年
⑯	イチョウ	法用寺の大イチョウ	約300年
⑰	イチョウ	福永の乳イチョウ	約350年
⑱	ケヤキ	下堀大橋家のケヤキ	約250年
⑲	スギなど	福泉寺の森	約80～300年
⑳	スギ	熊野神社（橋爪）のスギ	約200年
㉑	スギ・フジ	船岡稻荷神社のスギ	約200年
㉒	スギ	仁王寺のスギ	約200年
㉓	スギ	立行事・稻荷神社の森	約200年
㉔	イチョウ	新屋敷新田のイチョウ	約150年
㉕	ケヤキ	沢田・稻荷神社のケヤキ	約250年
㉖	ケヤキ	法幢寺のケヤキ	約150年
㉗	エドヒガン	清龍寺の種蒔ザクラ	約250年
㉘	エノキ	雷神社のエノキ	約250年

## ①虎の尾桜

樹種 サトザクラ

推定樹齢 約200年

「新編会津風土記」に記載されている名木。会津五桜の一つ。



法用寺のサクラ

## ②法用寺のサクラ

樹種 エドヒガン

推定樹齢 約200年

観音堂右に生育する自生種の巨木。

## ③薄墨桜

樹種 アイヅウスズミ

推定樹齢 約80年

「会津風土記」に記載されている名木。会津五桜の一つ。



馬の墓の種蒔桜（上）  
と幹（右）



## ④神代桜

樹種 エドヒガン

推定樹齢 約400年

伊佐須美神社の高天原に生育するご神木で、在来種の巨木。

## ⑤馬の墓の種蒔桜

樹種 エドヒガン

推定樹齢 約400年

在来種の巨木。種蒔桜として地域のシンボルで、保護されてきた。

## ⑥宮川千本桜

樹種 ソメイヨシノ

推定樹齢 約90年

大正3年(1914)以降堤防造成時に植えられた町民憩いの場。



長福寺の四季桜

## ⑦長福寺の四季桜

樹種 シキザクラ

推定樹齢 約50年

春と晩秋に咲く園芸種の古木で、植栽されたもの。

## ⑧根岸のウコン桜

樹種 ウコン

推定樹齢 約40年

ウコン（黄桜）の古木で見事な樹形が美しい。



根岸のウコン桜

## ⑨中田観音堂のサクラ

樹種 マメザクラ

推定樹齢 約40年

富士桜とも称する品種の古木で、植栽されたもの。

## ⑩千歳ザクラ

樹種 エドヒガン

推定樹齢 約600年

「新編会津風土記」に記載されている在来種の巨木。



中田観音堂のサクラ

## ⑪相田のケヤキ

樹種 ケヤキ

推定樹齢 約800年

本町を代表するケヤキの巨木。自然樹形が雄大。



相田のケヤキ

## ⑫伊佐須美神社の南光のヒノキ

樹種 サワラ

推定樹齢 約400年

ヒノキではなく、サワラの巨木。天海大僧正御手植えと伝えられる。

## ⑬伊佐須美神社の紫竜のフジ

樹種 フジ

推定樹齢 約300年

伊佐須美神社境内に自生する。シラカシに巻き付くフジの古木。

## ⑭伊佐須美神社の森

樹種 ナラガシワなど

推定樹齢 約100～300年

当地方の自然植生を残す貴重な社叢。



竹原の大ツバキ

## ⑮竹原の大ツバキ

樹種 ヤブツバキ

推定樹齢 約400年

当地方では珍しいヤブツバキの巨木。

## ⑯法用寺の大イチョウ

樹種 イチョウ

推定樹齢 約300年

法用寺境内に植栽されたイチョウの雌木の巨木。



法用寺の大イチョウ

## ⑰福永の乳イチョウ

樹種 イチョウ

推定樹齢 約350年

万治元年（1658）に植栽したと伝わる。乳根が多く発生し、信仰の木として愛される。

## ⑲下堀大橋家のケヤキ

樹種 ケヤキ

推定樹齢 約250年

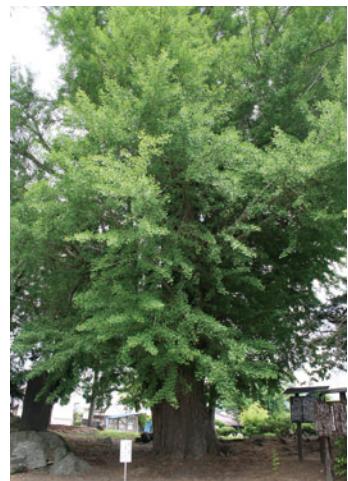
旧会津高田町内で存在感のあるケヤキの巨木。

## ⑳福泉寺の森

樹種 スギなど

推定樹齢 約80～300年

スギ、コウヤマキなどの巨木が生育する社叢。



福永の乳イチヨウ

## ②熊野神社（橋爪）のスギ

樹種 スギ

推定樹齢 約200年

平坦な水田の中にある熊野神社に生育し、遠くからでも目立つ巨木。

## ②船岡稻荷神社のスギ

樹種 スギ・フジ

推定樹齢 約200年

植栽されたスギの中にサワラ、フジの巨木がひときわ目立つ。

## ②仁王寺のスギ

樹種 スギ

推定樹齢 約200年

参道スギ並木のスギの巨木。



仁王寺のスギ

## ②立行事・稻荷神社の森

樹種 スギ

推定樹齢 約200年

鬱蒼とした社叢の中に2本のスギの巨木が目を引く。

## ②新屋敷新田のイチヨウ

樹種 イチヨウ

推定樹齢 約150年

道路沿いに生育するイチヨウの巨木。根元近くから多くの幹が分岐し  
籌状となる。

## ②沢田・稻荷神社のケヤキ

樹種 ケヤキ

推定樹齢 約250年

沢田部落の稻荷神社境内に生育するケヤキの巨木。根張りが特徴的。ケヤキ4本スギ2本の巨木あり。



立行事・稻荷神社の森



新屋敷新田のイチヨウ



沢田・稻荷神社のケヤキ

㉖法幢寺のケヤキ

樹種 ケヤキ

推定樹齢 約150年

参門入口に生育し、自然樹形が美しい。

㉗清龍寺の種蒔ザクラ

樹種 エドヒガン

推定樹齢 約250年

文殊堂左に生育し、文殊菩薩にあやかり知恵桜とも呼ばれる巨樹。

㉘雷神社のエノキ

樹種 エノキ

推定樹齢 約250年

雷神社境内に生育するエノキの巨樹で、1本で森のように茂る。

(鈴木俊行)



法幢寺のケヤキ

## 8 エリア調査

### ①エリア調査の目的

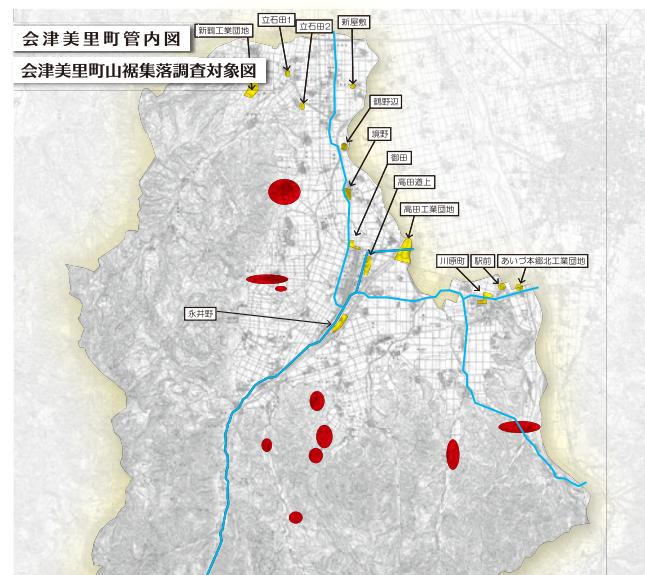
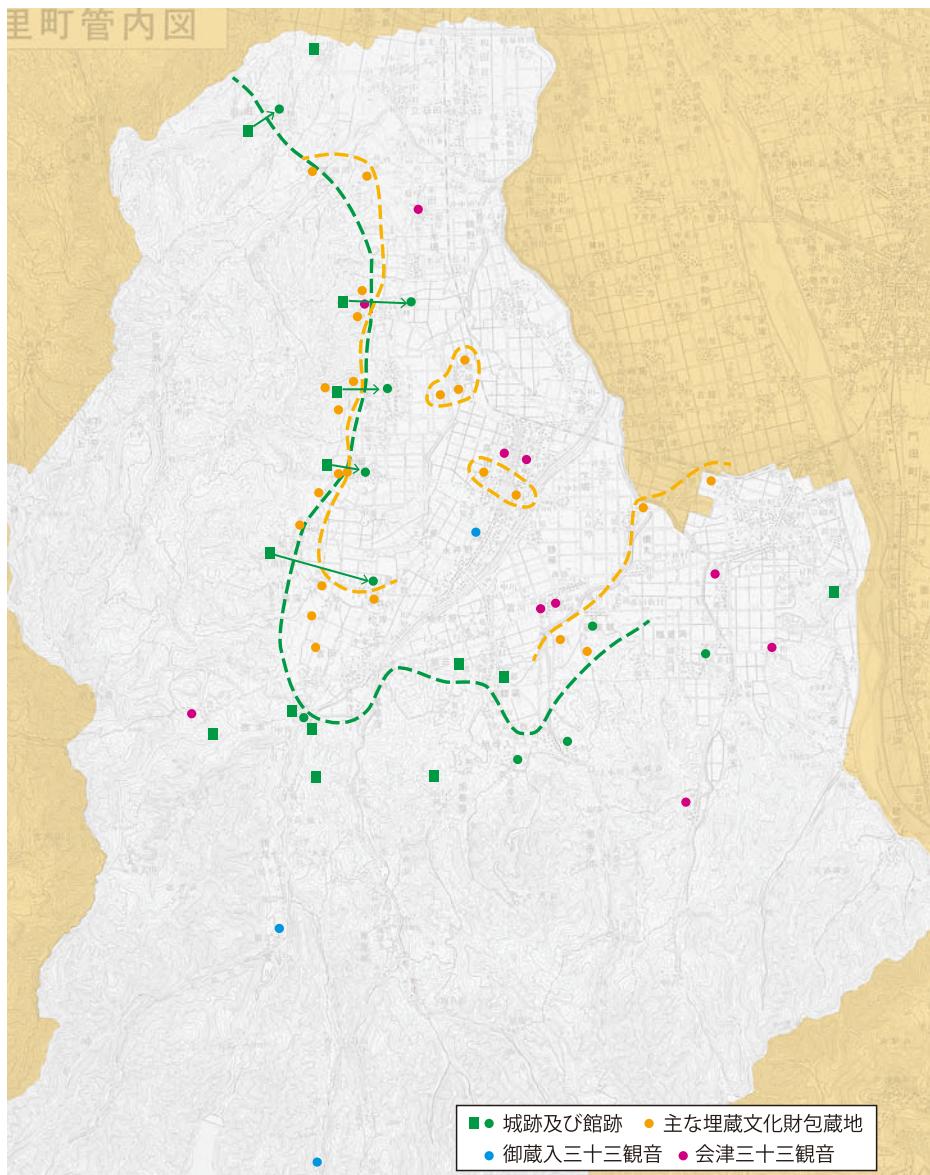
考古遺跡の分布状況、中世城跡・城館の分布状況、会津三十三観音堂巡礼および御蔵入り三十三観音巡礼地の配置を重ねると、似たような立地に集中している。

それが、会津盆地西縁の山裾集落であることが窺えることから、山裾集落に焦点をしぼり、エリアの調査を実施した。

考古遺跡の分布状況、中世城跡・城館の分布状況、会津三十三観音堂巡礼および御蔵入り三十三観音巡礼地の配置、先行調査済集落立地図を採録しておく。

本調査において調査したエリアは7集落で、いずれも調査に協力的で住民の文化的意識は高いものと感じられた。しかし、集落自体で独自に多くの文化財を維持管理していく体力は失われつつある。

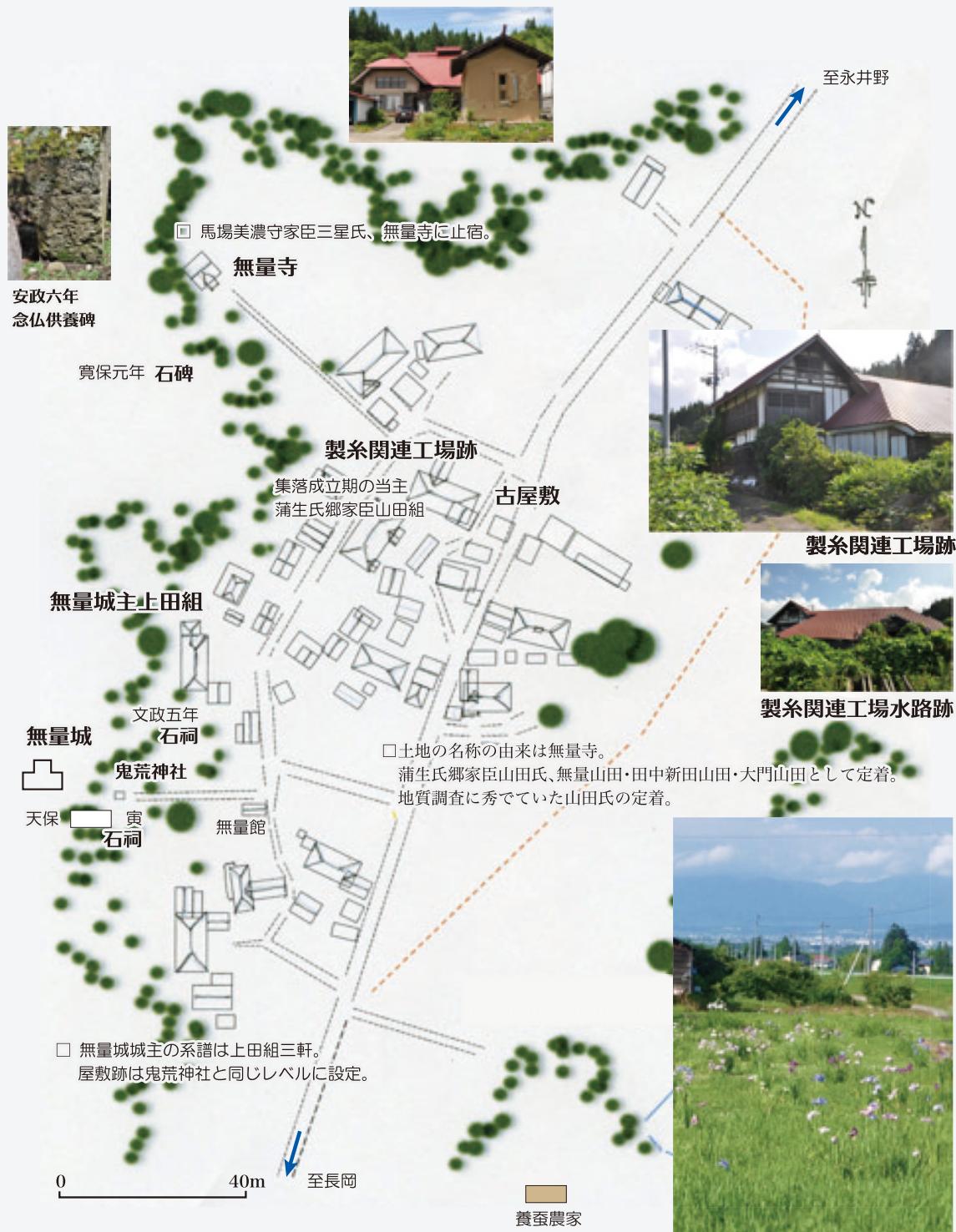
(狩野勝重)

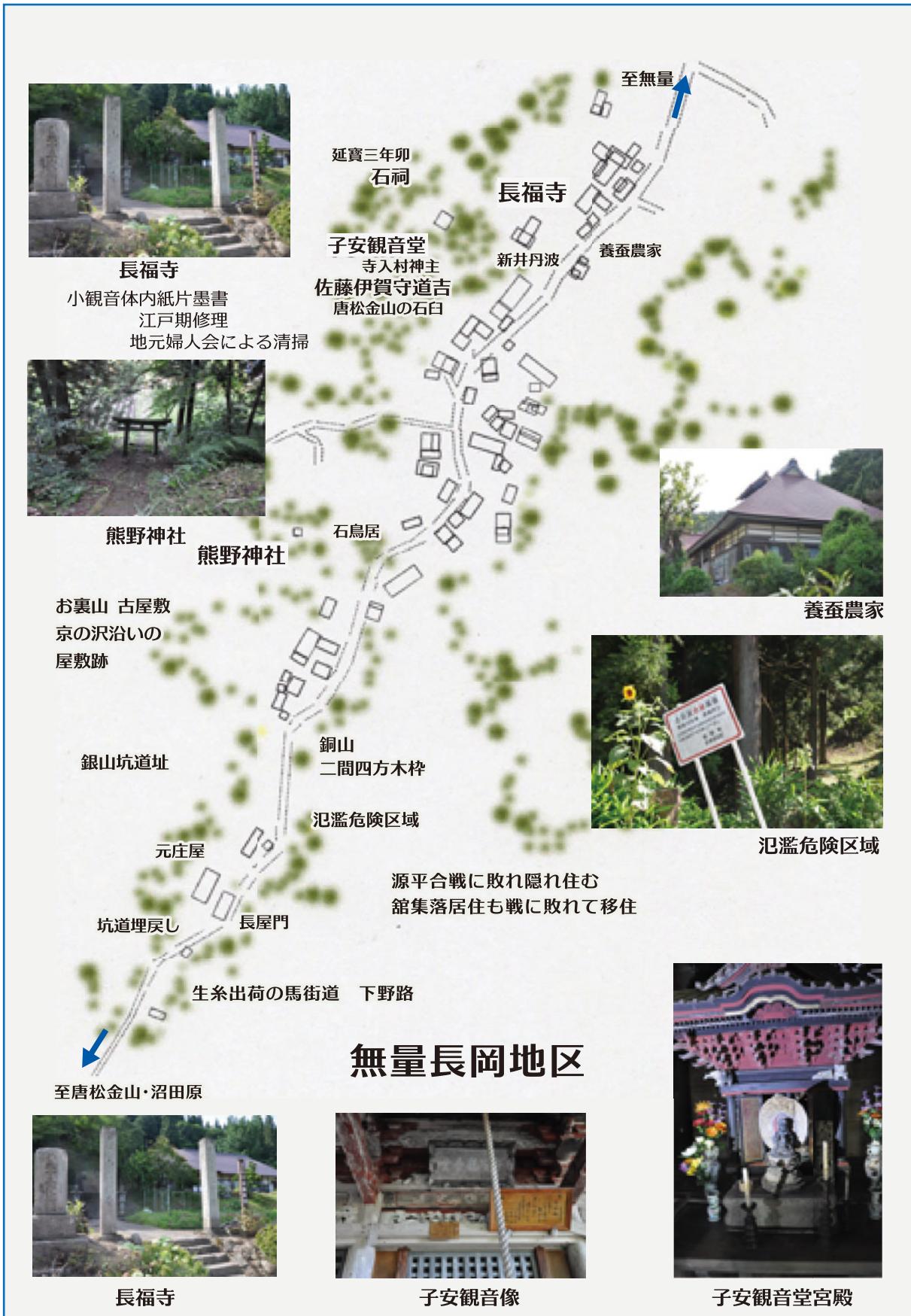


②先行調査地区（出典：平成29年度「会津美里町歴史文化基本構想策定事業」報告）

## 旭無量地区

明治三年の福島県養蚕支援。「絹の道」としての下野路開削。  
この地域における明治期最初の耕地整理。最も美しい会津盆地遠望。  
中世最強の防衛機能完備。





## 松岸地区



『新編会津風土記』に見える  
松岸村は現在の地番では芦窪  
と呼ばれる場所に相当する。

手児神社本殿



手児神社拝殿

嘗ての松手児神社本殿手児神社拝殿岸村とは異なっているようです。大正三年甲寅1914二月八日の『手児大明神宮記録』によれば、「陸奥大沼小保郷永居荘松岸村鎮守神」と記されていて、『日本旧時記』にその謂れを載せています。大いなる獸に乗った端厳美麗たんごんびれうで絹々けんけんたる歳渡六計の児が神獸を操り、悪神を治めたとされ、その身を二つに分身させ一つは山田永居に留まり、いま一つが当地に降臨したと伝えています。それが旧手児宮ですが、今はありません。

また、神勅によって勧請された素戔鳴尊を祭る明神嶽聚窪だくぼ(嶽続きの窪地)の大きな沼に棲む大蛇が人里の幼子を奪うことを憂えていた所、手児宮奥の院がある嶽から嶽山素盞鳥を勧請して祈ったところ、人民の安堵を得ることができたので、松岸に遷宮して奥の院の牛頭天王を崇めたとも伝えています。なお、天形星神秘石という石が神前に祭られているともいわれています。

手児神社の拝殿は江戸時代中期以降の造営になるものと推測されますが、本殿については拝殿よりも古い造営であることが伺えます。上屋部分については本体よりも後の修造と見受けられます。先に掲げた『手児大明神宮記録』には数回に及ぶ修理造営のあったことが記されています。建物は拝殿、幣殿、本殿の順に続き、本殿の南脇障子には詩が書かれていますが、どのようなものなのでしょうか。本格的調査が待たれます。



手児神社本殿



本殿背面



本殿組絵様縁型

## 左下り観音堂・大石地区



大石地区的皆さん、左下り観音堂を護ること、そこに集まって地区の親睦を図ることを大変重要に感じておられるようです。しかしながら、左下り観音堂の7月16日の例大祭でさえも、自らが楽しむだけで、会津三十三札所の一つであっても、来訪者には冷たいものがあります。大祭の日に訪れてみたところ、かなりの来訪者があり、観音堂を興味深げに参拝している姿が印象的であったが、それだけで所在なさそうに帰途につく人が多かった。そこには巡礼者に対する記念帳への捺印場所も無いままです。

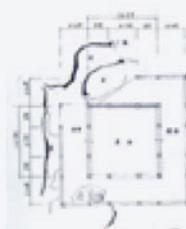
大変感心した煮崩れしないジャガイモ、インゲン、粘りのある自然薯、玉蜀黍等、観音寺の境内や左下り観音堂参道の中ほどにある駐車場の一画にでもあればよいものを…と感じた次第です。

そこで、後にも話しますが、一つの提案があります。全くの空き家の中を空洞にしてテントによる内装を施した施設が提案できないものでしょうか。簡単に言うと、会津美里町版グランピングであり、豪華なグルメと云うよりも、地元で生産されるその地ならでの試みで、自らが創り出す地面との心が通った豊かさを食材として…。こうした施設が大石集落の一画にでもあればよいものを、と考えてしまいます。

また、観音寺も参拝者に対する休憩施設などに使用できるのではないかでしょうか。特に、人の心を疑うことのない「慈悲の心」が仏の道でもあります。



観音寺



左下り観音堂復元平面



左下り観音堂

※現在作成中のため写真が異なる場合があります。



鹿島神社 (現・神明神社)

白雲山常明寺

## 赤留地区



大宝院不動堂



修驗道



天井絵

『新編会津風土記』には赤留村の奢侈として、鹿島神社・常明寺じょうみょうじ・東照寺・不動堂の四つの堂宇が揚げられている。

### 赤留不動堂

今回の「文化財基本台帳策定事業」に先立つ文化財建造物の調査で、棟札からその建立年代について文政四年（1821）であり、越後国鷲町大工棟梁鈴木源五郎の下で多くの越後国大工および地元大工達が拘っていたであろうことが確認された。当堂は修験大宝院がこれを司ったもので、格天井一杯に花鳥風月の板絵が嵌め込まれていますが、本来胎蔵界曼陀羅が描かれるべきものであったものが、江戸時代後半になると、そのような厳格さは姿を消して、一般に判り易い花鳥風月が題材に選ばれたものと推測されます。仁王門の建立も同じ時代のことでしょう。

### 鹿島神社

鹿島神社については、地元ではすでに退転したものと受け止められ、その存在を知る人

特徴ある民家  
 親鸞像・弘化三年 1849  
 仏間扇子  
 佐竹八千代氏奉納天井絵  
 東照寺  
 親鸞聖人夢想靈場 大円鏡智  
 至松岸村 手児神社

はおりませんでしたが、『新編会津風土記』に次のように記されています。

不動堂 境内東西三十六間、南北十二間、年貢地鹿島神社ノ南ニアリ、創建ノ始知ス、仁王門アリ、修驗大宝院是ヲ司ル

この記述から、大宝院不動堂の北側に鹿島神社があったことが判りました。

本殿妻面絵様縁形  
本殿海老虹梁

※これは現在作成中である。

## 関山地区

関山の集落は古く会津西街道として冰玉峠を越えて大内宿へ繋がる街道集落であったが、今もその面影を残す。

### 関山観音堂

会津三十三観音  
巡礼の一  
二十四番



街道集落特有の奥行きの深い建物構成と農家との融合形態を示す集落

## 『新編会津風土記』



熊野神社

熊野神社本殿

延宝三年 1675 勧請札

熊野神社拝殿

寛延四年 1751

熊野宮境内東西九間、南北七間、免除地村西山上ニアリ、関山村ノ鎮守ナリ、觀請ノ年代詳ナラス、鳥居・幣殿・拝殿アリ、福永村山口越後是アリ司ル

相殿四座

白幡八幡宮 本村ヨリ移ス

稻荷神 同上

日光神 同上

權現 同上

水神社境内東西四三間、南北二間半、免除地村ヨリ寅ノ方二町二十間山中ニアリ、上小松村ノ鎮守ナリ、何ノ頃ノ鎮座ナルヤ詳ナラス、老杉數株フリテモノフリタリ、石鳥居アリ、村民ノ持ナリ

觀音堂境内東西六間、南北十間、免除地村西山麓ニアリ、創建ノ年代知ス、上小松村ノ護仏ニテ会津三十三所順礼ノ一ナリ、此堂モト山下ノ平地ニアリ、寛政二年山ヲキリヒラキ此所ニ移ス



## 『会津風土記』

下野路 有リ會津城、南ニ置驛八ツ自リ若松、至リ関山ニ二十五里、此間有リ鶴沼川、二三月間雪消水漲此時渡船此レ為リ會津大沼二郡ノ界トス、自リ関山ニ至リ大内ニ十六里餘此間有リ福永峠

# アンケート調査結果

文化祭及び歴史講演会等において、町内の参加者にアンケート調査を実施した。

89名の回答を得られたので、掲載する。

## 1 アンケート内容

町の歴史文化や歴史文化の活用に対する関心度をはかるため、10月下旬から11月下旬に高田地域・本郷地域・新鶴地域で開催された文化祭および、12月16日に開催した歴史講演会において、下記アンケートを実施した。

会津美里町の歴史文化に関するアンケート						
ご協力お願いいたします						
このアンケートカードでの「文部省」は町・市・村・国で指定されたものだけでなく、人が生活する中で作られ、今まで残ってきた文化的なものをおられます。						
また、「歴史文化」とは、文化財と文化財をとりまく環境（文化財の周囲の自然環境や、地域の人々との関係のような社会環境など）が一体となったものをいいます。						
■歴史文化への関心について						
(1) 文化財に关心があるですか。(1つに○)						
1. 関心はある		2. どちらかといえば関心はある				
3. どちらかといえば関心はない		4. 関心はない(→ (3) の質問へお進みください)				
(2) 関心のある文化財はどのようなものですか。(複数回答可)						
1. 信仰としての神社仏閣 2. 古文書や歴史資料						
3. 城や城跡などの史跡 4. 伝統的な影形						
5. 神社・寺院などの古い建造物 6. 祭りや民衆芸能、昔ながらの信仰						
7. 天然記念物・自然 8. 誰かやそこから出土した考古資料						
9. 陶磁器などの伝統工芸品 10. 歴史上の人物やその人に關わる史跡						
11. 歴史的な街並み・街道 12. 絵画や絵馬など						
13. 伝統的な食べ物など						
14. その他( )						
(3) 会津美里町の自然を含めた歴史文化は魅力がありますか。(1つに○)						
1. 上でも魅力がある		2. まあまあ魅力がある				
3. あまり魅力がない		4. まったく魅力がない				
(4) 文化財の保存・活用は重要なだと思いますか。(1つに○)						
1. 重要である		2. どちらかといえれば重要な				
3. どちらかといえれば重要なない		4. 重要なない				
(5) (4)についてあなたの心地に近いものを教えてください。(1つに○)						
1. 舊から守り伝えられてきたものは、残していく必要がある。または、残すことに協力している。						
2. 時代の流れの中で消えていくものは仕方がない、できるなら残したい。						
3. 地域に残る文化を残したいとは思うが、面倒をかけるので若い層には離れてほしい。						
4. 時代の流れの中で残していくものは仕方がないので、残して行ってもかまわない。						
5. 古いものは時代遅れなので、守らなくてよい。						
6. 古いものの歴史感はいやだ、めんどくさい。						
7. 地域の歴史を子どもたちに教える必要はない。						
8. 地域の歴史は地域の人をつなぐものなので、若い世代に伝えたい。						
9. その他( )						
(8) 会津美里町の文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、大切だと思うものはなんですか。(複数回答可)						
1. 地域ごとの特性を活かしたまちづくり						
2. 街民がまちを誇りに思う健民の育成						
3. 歴史文化の次世代への継承						
4. 会津美里町のような伝統工芸の活性化						
5. 観光興業による盛り上げ創出						
6. 国内への知名度向上などによるまちのブランド化						
7. 地域に残る歴史文化を活用し、地域住民が連帯感をもてる地域づくり						
8. その他( )						
(9) 文化財の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか。(複数回答可)						
1. 講演会や祭りなどの参加 2. 家庭内や地域のことについて語ること						
3. 周囲の人への声(ご当地の便など) 4. 興味を持った文化財を語ること						
5. インターネットやSNSなどの情報発信 6. 民衆芸能の練習への参加						
7. 伝統技術などの継承 8. ボランティアガイド						
9. あなたのための寄付 10. 協力できることはなし						
11. その他( )						
(10) 歴史文化を活用し、保存していくために「歴史文化基本構想」を策定していることはご存知ですか。						
1. よく知っている 2. 講演会にいったことがある						
3. 聞いたことはある 4. まったく知らない						
(11) 会津美里町の歴史文化についてのご意見や、おすすめの歴史文化があげてください。						
<input type="text"/>						
(6) 町内にある次の文化財をどの程度知っていますか。(それぞれ1つに○)						
番号	文化財	よく知っている	見に行ったことがある	聞いたことがある	知らない	
①	伊佐須美神社【信仰】	1	2	3	4	
②	向羽黒山城跡【国指定・史跡】	1	2	3	4	
③	一字蓮寺法華経【国宝・書跡】	1	2	3	4	
④	弘安寺銅十一面観音像及び脇侍立像【国指定・仏像】	1	2	3	4	
⑤	法種寺千葉松阿弥陀如来立像及脇侍脇脳時立像【国指定・仏像】	1	2	3	4	
⑥	法用寺金剛力士像【仏像】	1	2	3	4	
⑦	弘安寺軟骨金剛【国指定・建造物】	1	2	3	4	
⑧	法用寺妙音堂【県指定・建造物】	1	2	3	4	
⑨	常福院兼業舎【田子業舎】【国指定・建造物】	1	2	3	4	
⑩	福地寺妙音堂【国指定・道造物】	1	2	3	4	
⑪	左下り般若堂【県指定・道造物】	1	2	3	4	
⑫	伊佐須美神社の田植神事【国指定・無形民俗】	1	2	3	4	
⑬	佐布川の草乙女踊り【町指定・無形民俗】	1	2	3	4	
⑭	西勝の舟洋子舞【町指定・無形民俗】	1	2	3	4	
⑮	高橋の舟送り【町指定・無形民俗】	1	2	3	4	
⑯	太々神楽【町指定・無形民俗】	1	2	3	4	
⑰	会津三十三観音めぐり【日本遺産】	1	2	3	4	
⑱	米沢の十歳桜【県指定・天然記念物】	1	2	3	4	
⑲	喜沼の浮島【県指定・天然記念物】	1	2	3	4	
⑳	油田遺跡出土品【町指定・遺物】	1	2	3	4	
㉑	会津本郷焼【伝統工芸品】	1	2	3	4	
㉒	天海大物正【人物】	1	2	3	4	
㉓	下野街道【街道】	1	2	3	4	
㉔	天明美術館之森【町指定・緑地】	1	2	3	4	
(7) 「会津美里町といえこれ!」と、人にPRしたいものがありますか。						
1. 上の表にある場合はその番号をお書きください( )						
2. その他( )						
3. 特になく( )						
■あなた自身について教えてください						
(1) それぞれ1つに○をつけてください						
性別	1. 男性	2. 女性				
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代		
	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上		
高田地域	( ) 地区					
本郷地域	( ) 地区					
新鶴地域	( ) 地区					
その他						
居住歴	1. 生まれてからずっと町内に住んでいる 2. 転入してきた 3. 町外に転出したが戻ってきた 4. 町内に住んでいたが、近隣市街町へ転出した 5. その他( )					
居住年数(通算)	1. 4年以下 2. 5~9年 3. 10~19年 4. 20~29年 5. 30~39年 6. 40年以上					
あなたと文化財の関係	1. 文化財の所有者・管理責任者 2. 文化財に触れ合う機会がたくさんある 3. お祭りや民俗芸能に参加したことがあります 4. 会津本郷焼に関わる仕事をしている 5. 歴史を知ることが趣味 6. 漢字が趣味 7. 特に関係ない					
あなたが関心を持っているものはありますか?	1. 歴史小説 2. 歴史小説 3. 歴史シミュレーションゲーム 4. 戦国武将 5. 古い物語 6. 伝統工芸品 7. 古い書類や伝記など 8. 摂土料理 9. 戦争に関する話 10. 特になく 11. その他( )					
(2) 自由にご意見をお書きください						
<input type="text"/>						
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。						
会津美里町教育委員会生涯学習課・文化係						

## (2) アンケート結果

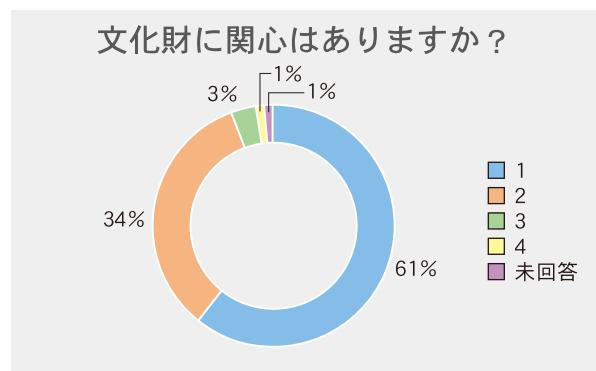
アンケートの回収の結果、町内在住が明確なものを有効としたため、89名分のアンケートを有効なものとして、下記に掲載する。

### ①文化財に関心はありますか。(1つに○)

- 1. 関心はある
- 2. どちらかといえば関心はある
- 3. どちらかといえば関心はない
- 4. 関心はない

#### 【回答】

1	2	3	4	未回答
54	30	3	1	1

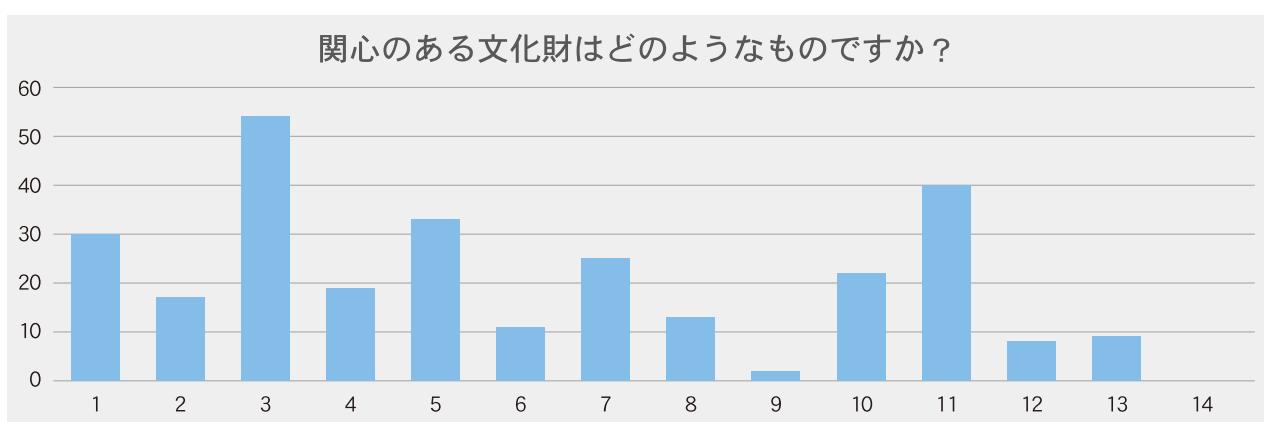


### ②関心のある文化財はどのようなものですか。(複数回答可)

- |                  |                      |
|------------------|----------------------|
| 1. 信仰としての神社仏閣    | 2. 古文書や歴史資料          |
| 3. 城や城跡などの史跡     | 4. 仏像などの彫刻           |
| 5. 神社・寺院などの古い建造物 | 6. 祭りや民俗芸能、昔ながらの信仰   |
| 7. 天然記念物や自然      | 8. 遺跡やそこから出土した考古資料   |
| 9. 陶磁器などの伝統工芸品   | 10. 歴史上の人物やその人に関わる史跡 |
| 11. 歴史的な町並み・街道   | 12. 絵画や絵馬など          |
| 13. 伝統的な食べ物など    | 14. その他              |

#### 【回答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
30	17	54	19	33	11	25	13	2	22	40	8	9	0

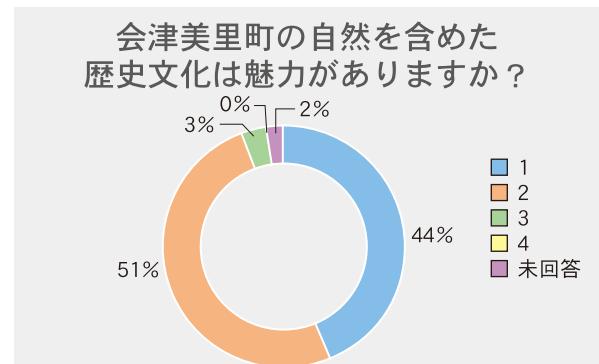


③会津美里町の自然を含めた歴史文化は魅力がありますか。(1つに○)

- 1. とても魅力がある
- 2. まあまあ魅力がある
- 3. あまり魅力がない
- 4. まったく魅力がない

【回答】

1	2	3	4	未回答
39	45	3	0	2

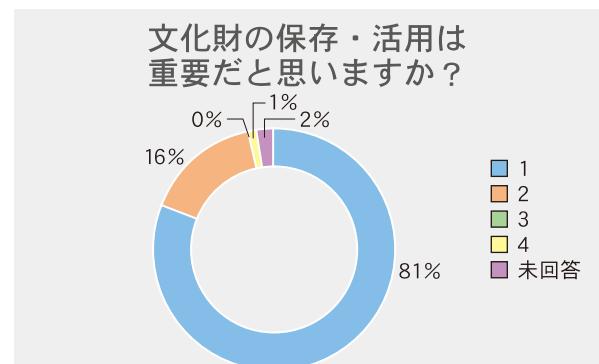


④文化財の保存・活用は重要だと思いますか。(1つに○)

- 1. 重要である
- 2. どちらかといえば重要である
- 3. どちらかといえば重要と思わない
- 4. 重要と思わない

【回答】

1	2	3	4	未回答
72	14	0	1	2



⑤④についてあなたの心情に近いものを教えてください。(1つに○)

- 1. 昔から守り伝えられてきたものは、残していく必要がある。または、残すことに協力している。
- 2. 時代の流れのなかで消えていくものは仕方がないが、できるならば残したい。
- 3. 地域に残る文化を残したいとは思うが、面倒をかけるので若い者には継承したくない。
- 4. 時代の流れの中で消えていくものは仕方がないので、消えていってもかまわない。
- 5. 古いものは時代遅れなので、守らなくてもよい。
- 6. 古いものの継承はいやだ。めんどくさい。
- 7. 地域の歴史を子どもたちに教える必要はない。
- 8. 地域の歴史は地域の人をつなぐものなので、若い世代に伝えたい。
- 9. その他

【回答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	未回答
52	25	0	0	0	0	0	7	2	4

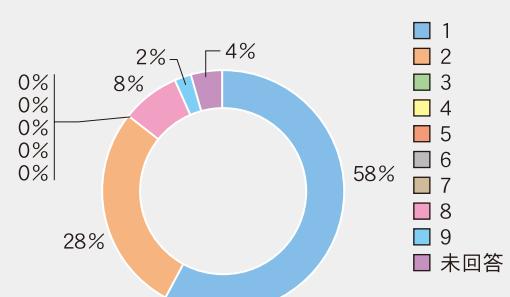
### 【9.その他の回答】

- 故郷のアイデンティティは歴史の中にある。
- 学校教育の中での取り上げ方を工夫する。

⑥町内にある次の文化財をどの程度知っていますか。  
(それぞれ1つに○)

- 1 よく知っている 2 見に行ったことがある  
3 聞いたことがある 4 知らない

あなたの心情に近いものを教えてください。



①伊佐須美神社【信仰】 ②向羽黒山城跡【国指定・史跡】

③一字蓮台法華経【国宝・書跡】 ④弘安寺銅造十一面観音像及び両脇侍立像【国指定・仏像】

⑤法幢寺銅造阿弥陀如来立像及両脇侍立像【国指定・仏像】 ⑥法用寺金剛力士像【国指定・仏像】

⑦弘安寺旧観音堂厨子【国指定・建造物】 ⑧法用寺観音堂・三重塔【県指定・建造物】

⑨常福院薬師堂（田子薬師堂）【国指定・建造物】 ⑩福生寺観音堂【国指定・建造物】

⑪左下り観音堂【県指定・建造物】 ⑫伊佐須美神社の田植神事【県指定・無形民俗】

⑬佐布川の早乙女踊り【町指定・無形民俗】 ⑭西勝の彼岸獅子舞【町指定・無形民俗】

⑮高橋の虫送り【町指定・無形民俗】 ⑯太々神楽【町指定・無形民俗】

⑰会津三十三観音めぐり【日本遺産】 ⑱米沢の千歳桜【県指定・天然記念物】

⑲蓋沼の浮島【県指定・天然記念物】 ⑳油田遺跡出土品【町指定・考古資料】

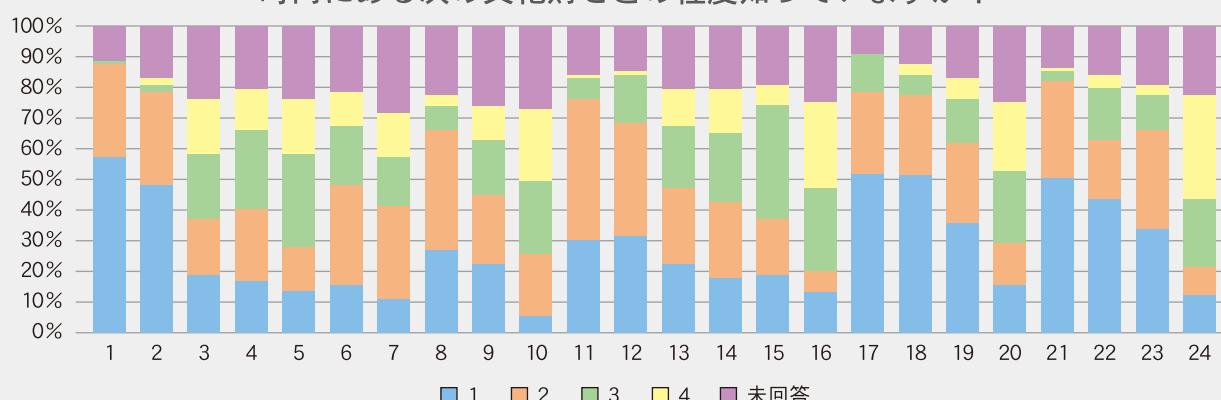
㉑会津本郷焼【伝統工芸品】 ㉒天海大僧正【人物】

㉓下野街道【街道】 ㉔天明飢饉之図【町指定・絵画】

	1	2	3	4	空欄
①	51	27	1	0	10
②	43	27	2	2	15
③	17	16	19	16	21
④	15	21	23	12	18
⑤	12	13	27	16	21
⑥	14	29	17	10	19
⑦	10	27	14	13	25
⑧	24	35	7	3	20
⑨	20	20	16	10	23
⑩	5	18	21	21	24
⑪	27	41	6	1	14
⑫	28	33	14	1	13

	1	2	3	4	空欄
⑬	20	22	18	11	18
⑭	16	22	20	13	18
⑮	17	16	33	6	17
⑯	12	6	24	25	22
⑰	46	24	11	0	8
⑱	46	23	6	3	11
⑲	32	23	13	6	15
⑳	14	12	21	20	22
㉑	45	28	3	1	12
㉒	39	17	15	4	14
㉓	30	29	10	3	17
㉔	11	8	20	30	20

町内にある次の文化財をどの程度知っていますか？



⑦「会津美里町といえばこれ！」と、人にPRしたいものはありますか。

1. 上の表にある場合はその番号をお書きください
2. その他
3. 特はない

【回答】

1	2	3
112	2	1

【1. 表中からの回答】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	㉑	㉒	
22	21	9	1	0	0	2	7	1	0	10	5	0	1	1	2	6	3	2	1	8	10

【2. 表中以外からの回答】

○天狗岩、生江食堂の朝ラー

○風土と歴史の考古学的見地の重要性を知らしめる

⑧会津美里町の文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、大切だと思うものはなんですか。

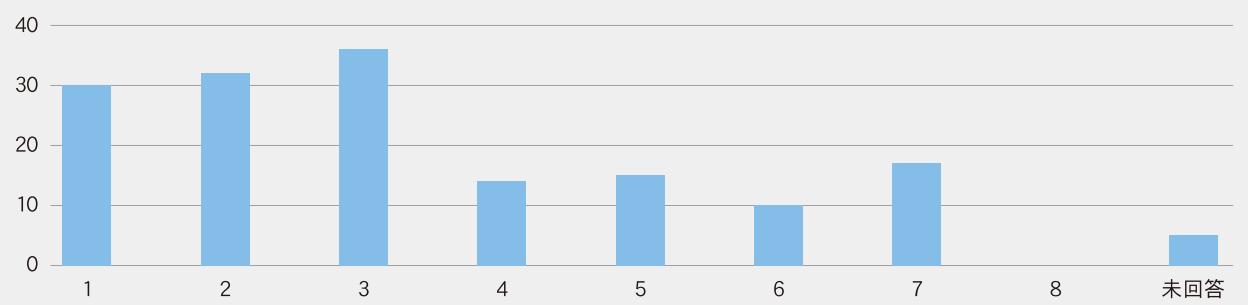
(複数回答可)

1. 地域ごとの特性を活かしたまちづくり
2. 町民がまちを誇りに思う郷土愛の育成
3. 歴史文化の次世代への継承
4. 会津本郷焼のような伝統産業の活性化
5. 観光振興などによる賑わい創出
6. 国内外への知名度向上などによるまちのブランド化
7. 地域に残る歴史文化を使い、地域住民が連帯感をもてる地域づくり
8. その他

【回答】

1	2	3	4	5	6	7	8	未回答
30	32	36	14	15	10	17	0	5

文化財・文化遺産の保存・活用の方向性について、大切だと思うものはなんですか？



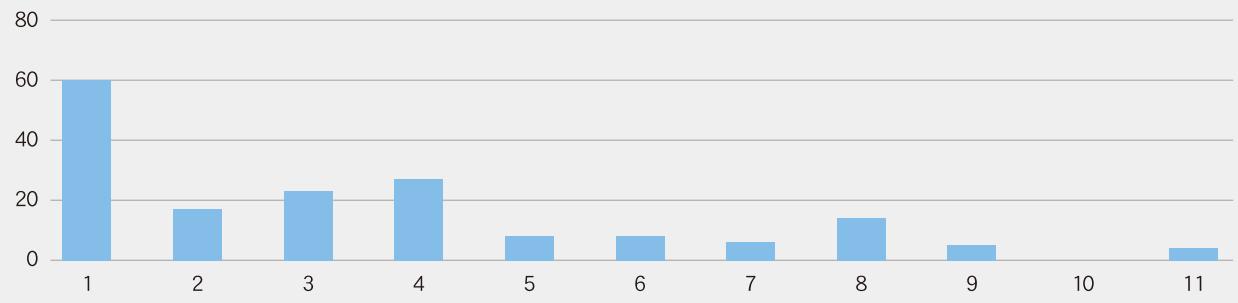
⑨文化財の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか。（複数回答可）

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 講演会や祭りなどへの参加       | 2. 家庭内で地域のことについて話すこと |
| 3. 周囲の人へのPR(ご当地自慢なども) | 4. 興味を持った文化財を調べること   |
| 5. インターネットやSNSなどで情報発信 | 6. 民俗芸能の練習への参加       |
| 7. 伝統技術などの継承          | 8. ボランティアガイド         |
| 9. 保全のための寄付           | 10. 協力できることはない       |
| 11. その他               |                      |

【回答】

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
60	17	23	27	8	8	6	14	5	0	4

文化財の保存・活用のために、あなたが協力できることはありますか？



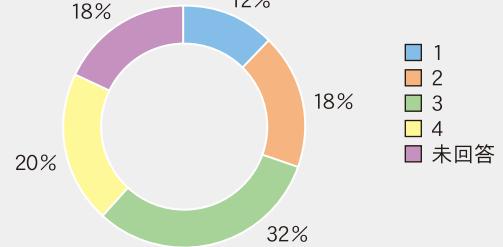
⑩歴史文化を活用し、保存していくために「歴史文化基本構想」を策定していることはご存知ですか。

- |             |                 |
|-------------|-----------------|
| 1. よく知っている  | 2. 講演会にいったことがある |
| 3. 聞いたことはある | 4. まったく知らない     |

【回答】

1	2	3	4	未回答
11	16	28	18	16

「歴史文化基本構想」を策定していることはご存知ですか



⑪会津美里町の歴史文化についてのご意見や、おすすめの歴史文化があれば教えてください。

- 向羽黒山城の復元、観光の目玉になろうかと思う。向羽黒山城跡（本郷焼含め）～伊佐須美神社～中田観音の観光コースをPRしたらどうだろうか。
- 町の広報「みさと」に少しずつ連載で（又はシリーズで）歴史、文化財、会津三十三観音堂の美里地域にあるものなど、紹介していってもいいのではと思います。
- テレビで、時々「天明飢饉之図」が映されるが、最近知ったことである。町内で生まれ育ったものとして、もう少し地元の歴史・自然文化について、学校で学べると良い。
- イザベラ・バード 河井継之助

## パブリックコメントの実施結果

- 1 参考募集期間 平成31年2月8日（金）から3月10日（日）まで
- 2 意見提出者数 3名
- 3 意見の概要及び町の考え方

番号	意見の概要	意見等に対する町の考え方
1	P.71 表 会津美里町の関連文化財 No.1 仏都会津とまほろばの里で、主な集落等の記載は、まほろばの里だけの集落であり、仏都会津の集落は龍興寺（国宝）や法幢寺（国重文）も入れる必要がある。	ご指摘のとおり関連文化財として記入します。
	P.78「仏都会津」発祥の寺である法用寺は、と記載があるが、仏都会津のことばの起源は「極上の会津プロジェクト協議会」において、ロゴマークと会津を代表する言葉として誕生したもので、当時の構成23市町村において、共通するものとして奈良県や京都府にも負けないくらいの古い神社、仏閣があるので採用されたので、湯川村や旧会津高田町には国宝があり、喜多方市の長床や新宮、会津坂下町の古墳群や神社、仏閣、柳津町の円蔵寺など各市町村には歴史がある数多くの仏閣があることから「仏都会津」が生まれたので、「法用寺が発祥の地」ではない。発祥の地と言いかれるのであれば、その根拠を記載すべきと思う。	「仏都会津」の言葉は、昭和6年に、伯爵東伏見邦英殿下の随行で会津を訪れた小野賢一郎氏による『仏都会津』に遡ることができますが、法用寺でその言葉が言われたという説明根拠が不十分であったため、「仏都会津」発祥の寺のことばは削除します。
	P.108 表の中で農農林業と記載してあるが、農の一字は削除ではないのか	ご指摘のとおり修正しました。
2	町の歴史文化を理解する上で必要な文書の公開について、今回の歴史文化基本構想を推進する体制の確立で、「文化財の所有者、管理者の役割として、次世代に継承していくと共に可能な範囲に於いて公開する等、その活用を推進する役割が期待される。」とありますが「公開」にあたり、所有者の責任の中での「不安」が先に出てしまうのではないかとの思いがよぎりました。  聞くところでは会津美里町観光協会 燃物資料展示室の工芸品（個人所有）の一部は所有者に返したとの事、会津美里町新機構改革で文化財関係は新鶴資料館での保存・管理と伺っていますが、果たして将来にわたっての保存・管理には疑問が残ってしまうかも知れません。	ご提案いただきました文化財の活用における所蔵文書の公開については、必ずしも公開し活用を図ることが強制ではありません。 今後の事業実施に当たっては、所有者との協議を行い、納得していただいた上で活用方法を検討してまいります。
	実際、所持する文書は、平成12年に一部の方への公開のみで、親戚の方からは「家宝として保存し、他にはむやみに公開してはならない」との指摘を受けましたので、貴重な文書と知りつつも関係機関に情報提供をしなかった為、未指定の古文書となっております。	ご提案いただきました観光案内板の設置については、今後の事業実施の参考とさせていただきます。

番号	意見の概要	意見等に対する町の考え方
3	<p>1. 現行の「文化財保護法」は文化財として、無形文化財、民俗文化財、埋蔵文化財、史跡名勝天然記念物、重要文化的景観、伝統的建造物群等を保護の対象としている。新庁舎「じげんプラザ」周辺は油田遺跡、先人の残した埋蔵物が発掘されている。町内各地の縄文・弥生の埋蔵文化財も保全の対象とすべきである。</p> <p>2. 旧「会津高田町誌」は郷土の風土、祖先の歩みを訪ね、「自然環境」から記述している。それによれば、昭和31年に蓋沼の浮島が天然記念物に指定されている。またモリアオガエル、カジカガエルの生息を確認している。</p> <p>3. 現在工事進行中の博士山大滝林道の県モニタリング調査によれば同地域でイヌワシの飛翔が報告されている。イヌワシは国の天然記念物に指定されており、県と協力して保護への努力をすべきである。また調査によれば数多くのクマタカの飛翔・営巣も報告されている。クマタカは絶滅危惧種であり自然環境の豊かさの証しでもある。</p> <p>4. わが町に隣接する只見川流域の町村が同地域の自然を「国定公園」へ指定との動きもある。博士山・神籠ヶ岳周辺の森林は「森林生態系保護地域緑の回廊」に指定されている。国有林だけでなく民有林も野生生物の生息にとって重要である。</p> <p>5. 近年、町内から「会津の伝統農業を世界遺産へ」との運動があった、又町内の「末広」・「万代芳」は全国レベルの優良な酒を生産している。宮川水系の水源林も保全すべきである。</p> <p>6. 明神ヶ岳山頂の伊佐須美神社奥宮祠も文化財であるが、同山麓も「自然環境保全地域」に指定されていることを記す。</p>	<p>ご提案いただきました自然の保全につきましては、今後の事業実施の参考とさせていただきます。</p>

### 【引用文献・参考文献】

- 伊藤香織 2017 「都市環境はいかにシビックプライドを高めるか」『都市計画論文集』 52巻3号  
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局・内閣府地方創生推進事務局 2016  
「日本版BID を含むエリアマネジメントの推進方策検討会(中間とりまとめ)」
- 西村奏美ほか 2013 「シビックプライドの種を市民の行動の中に見出す手法:都市生活に対する誇りと愛着を可視化する試み」『日本デザイン学会研究発表大会概要集』 60号
- 西村幸夫 2009 「観光まちづくりとは何か—まち自慢からはじまる地域マネジメント」西村編著『観光まちづくり』  
日本交通公社
- 会津高田町 2001 『会津高田町史 第一巻』通史  
会津高田町 1997 『会津高田町史 第二巻』考古・古代・中世 資料編 I  
会津高田町 2000 『会津高田町史 第五巻』自然・旧町村誌 各論編 I  
会津高田町 2002 『会津高田町史 第六巻』民俗 各論編 II  
会津高田町 1999 『会津高田町史 第七巻』文化 各論編 III
- 荒木 隆 2000 「付編1 古代会津郡東半部(会津若松市域)における奈良・平安時代掘立柱建物跡の特質」『若松北部県営圃場整備発掘調査報告書II』会津若松市教育委員会 481-512頁
- 石田明夫 2001 「第四節 考古学から見た古代 一古墳時代」『会津高田町史』第一巻 通史 会津高田町 34-45頁
- 石本 弘 1987 「塙川町明蓮寺1号墳出土の須恵器」『福島考古』第28号 福島県考古学会 63-70頁
- 垣内和孝 2008 「第四章 会津四郡の成立」『郡と集落の古代地域史』岩田書院 95-117頁
- 菊地芳朗 1999 「古墳の諸段階と地域権力—会津若松市域の古墳を中心に—」『会津若松市史研究』会津若松市 8-29頁
- 菅原祥夫 2007 「第Ⅱ章 東北・北海道における6～8世紀の土器変遷と地域の相互関係」『古代東北・北海道におけるモノ・ヒト・文化交流の研究』平成15年度～平成18年度科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書 東北学院大学文学部 23-118頁
- 菅原祥夫 2007 「東北の豪族居宅」『古代豪族居宅の構造と機能』奈良文化財研究所 27-64頁
- 菅原祥夫 2010 「東北」『古代窯業の基礎的研究—須恵器窯の技術と系譜—』窯跡研究会編 真陽社 459-491頁
- 菅原祥夫 2016 「古代会津の開発と遠隔地交流」福大史学会2016年度大会発表要旨
- 辻 秀人・菊地芳朗 1993 「会津地方の前期古墳」『磐越地方における古墳文化形成過程の研究』平成2年 文部省科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書 研究代表者 甘粕 健 37-46頁
- 坂内三彦 2001 「第五節 伊佐須美神社の成立とその時代」『会津高田町史』第一巻 通史 会津高田町 46-62頁
- 柳沼賢治・佐久間正明 2005 「栗団式土器の成立過程」『7世紀の東日本—変革期の諸相—』(陸奥南部の諸相)  
日本考古学協会2005年度福島大会シンポジウム資料集 409-426頁
- 柳沼賢治 2012 「古墳時代前期の交流と地域間関係」『福島考古』第54号 福島県考古学会 39-58頁
- 山中雄志 1999 「ロクロ土師器を中心とする会津地方の土器様相(前編)」『福島考古』第40号 福島県考古学会 105-120頁
- 山中雄志 2000 「ロクロ土師器を中心とする会津地方の土器様相(後編)」『福島考古』第41号 福島県考古学会 51-70頁
- 山中雄志 2004 「福島県会津地方の古代土師器鍋について」『東国史論』第19号 群馬考古学研究会 1-19頁
- 山中雄志 2014 「会津地方における古代集落の様相」『福島考古』第56号 福島県考古学会 65-84頁
- 山中雄志 2016 「会津地方における古代集落の様相—2～9世紀から10世紀を中心に」福島県考古学会 39-56頁

## 会津美里町歴史文化基本構想

発行日

平成31年3月

発 行

会津美里町

編 集

会津美里町教育委員会

〒969-6495 福島県大沼郡会津美里町鶴野辺字広町740番地

TEL 0242-78-2114 FAX 0242-78-3045

印刷・製本

三洋印刷株式会社

〒965-0053 福島県会津若松市町北町上荒久田鈴木163番地

TEL 0242-24-3667(代) FAX 0242-24-3669



平成30年度文化庁芸術振興費補助金（文化遺産総合活用推進事業）

